



# ビジネスブレイン太田昭和

2025年3月期 決算補足資料





# 目次

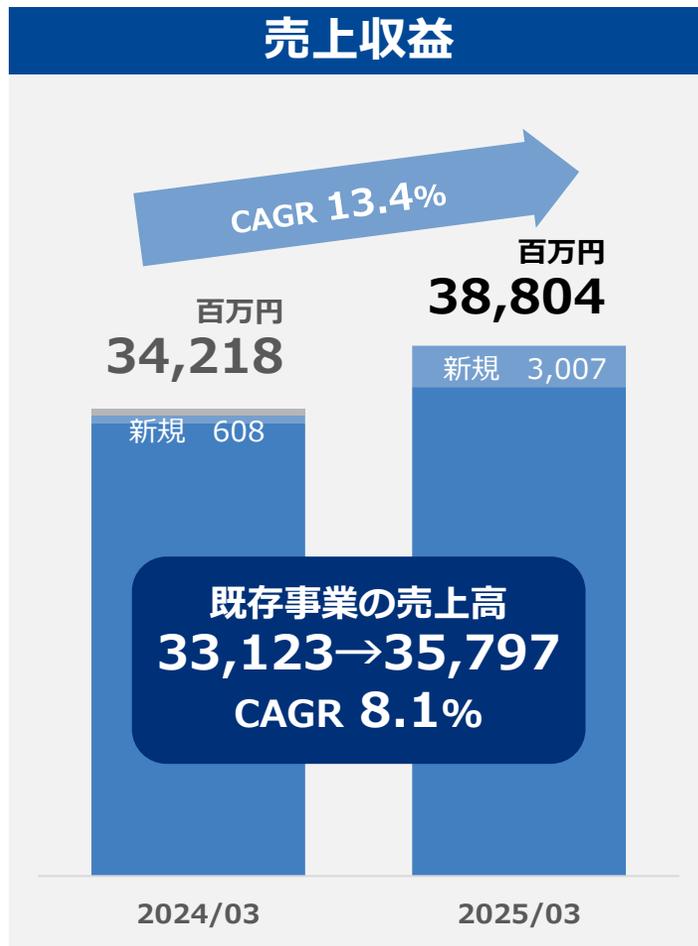
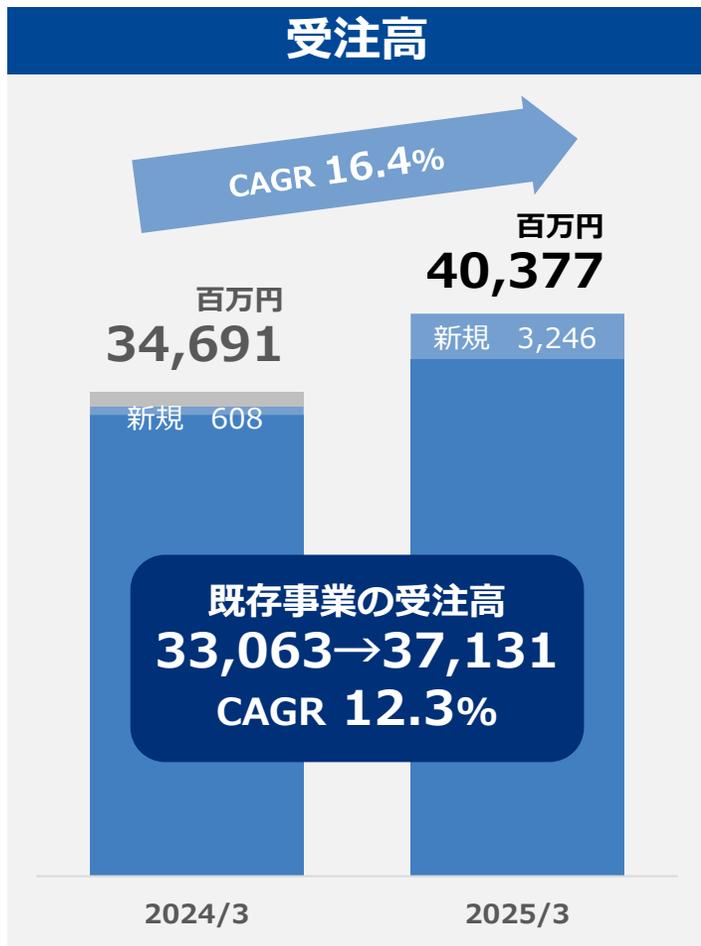
1. 2024年度 決算概況
2. 2024年度 決算説明
3. 2025年度 業績予想

A decorative graphic on the left side of the slide, consisting of four thick, parallel blue slanted lines that create a sense of movement and depth.

# 1. 2024年度 決算概況

# 2024年度ハイライト

前年同期を大幅に上回る実績を達成～新規取得事業のみならず、既存事業も大きく伸長



# 2024年度ハイライト コメント

## 受注高

## 売上収益

### 会計システムコンサルティング及びシステム開発事業における受注増/売上増

- ・ インフラ・モビリティ等注力分野からの受注増
- ・ 既存顧客からの大口受注が増加

### 人事給与関連アウトソーシング事業における受注増

- ・ 大口複数年契約獲得のため、単年度売上収益影響は軽微

### グローバル企業向けアウトソーシング事業における受注増/売上増

- ・ 経理BPOの受注増加

### 前期取得した子会社が通年寄与

- ・ フレスコ（前期12月取得）、トゥインクル（前期2月取得）が通年寄与

## 事業利益

### 会計システムコンサルティング及びシステム開発事業における利益率改善

- ・ 大口受注による利益率改善、稼働率向上による利益率改善

### PLM支援ソリューション事業における利益率改善

- ・ 不調PJ対応終息し回復

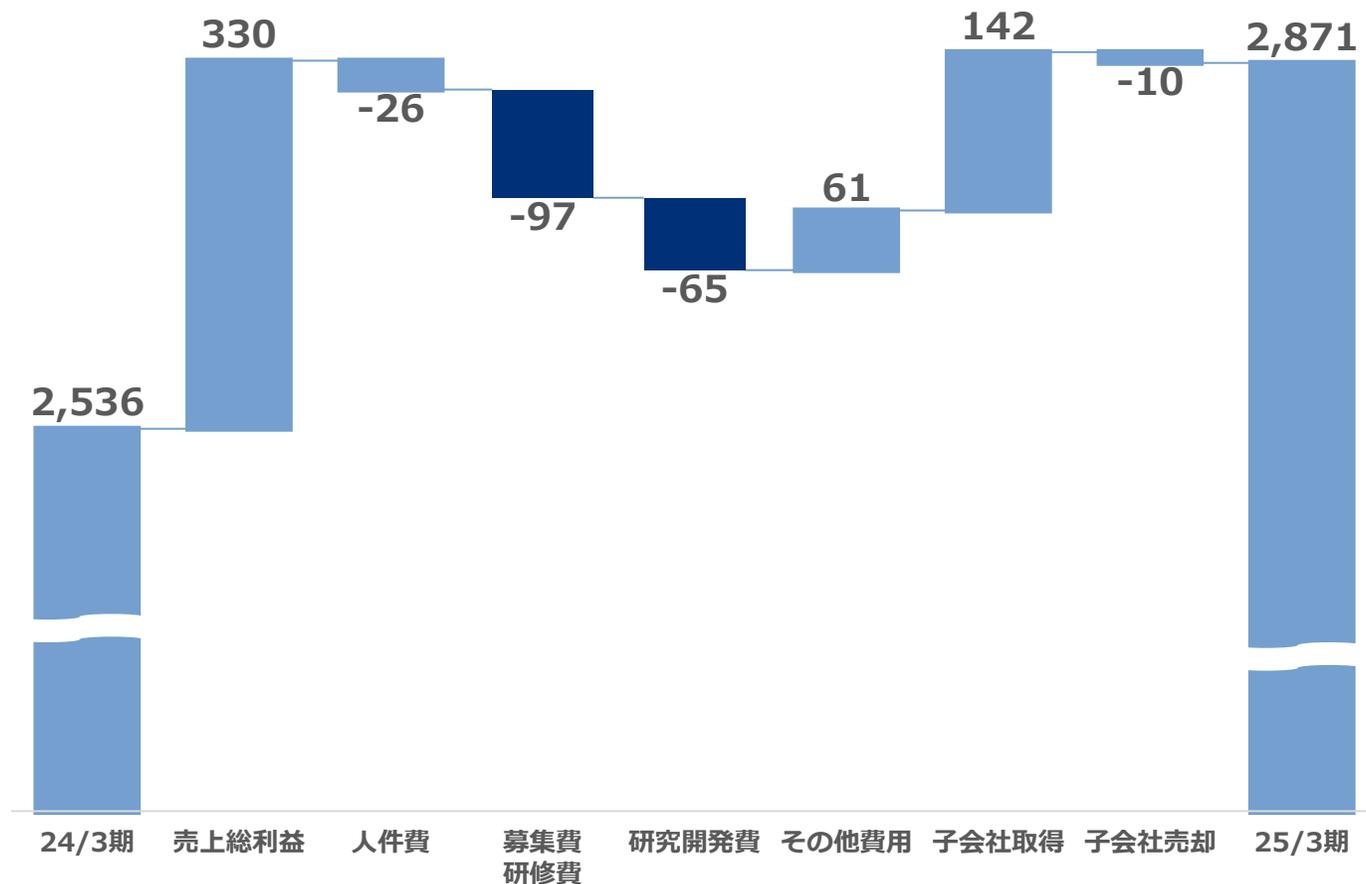
### 人事給与関連アウトソーシング事業における利益率低下

- ・ 利益率が相対的に高い新規導入コンサル案件数の低下
- ・ 組織再編に伴う内部費用の負担割合変更による低下

# 事業利益増減分析

事業利益の中で、継続的な投資を実施

単位：百万円



## 人的資本投資 97百万円

**募集費 290百万円 +84百万円**

- 採用増によるエージェント手数料の増加
- リファーマル採用強化により採用コストの低減

**教育研修費 98百万円 +13百万円**

- 次世代マネジメント育成のための選抜型研修の強化
- e-Learningの充実による研修機会の提供拡大

## 研究開発投資 65百万円

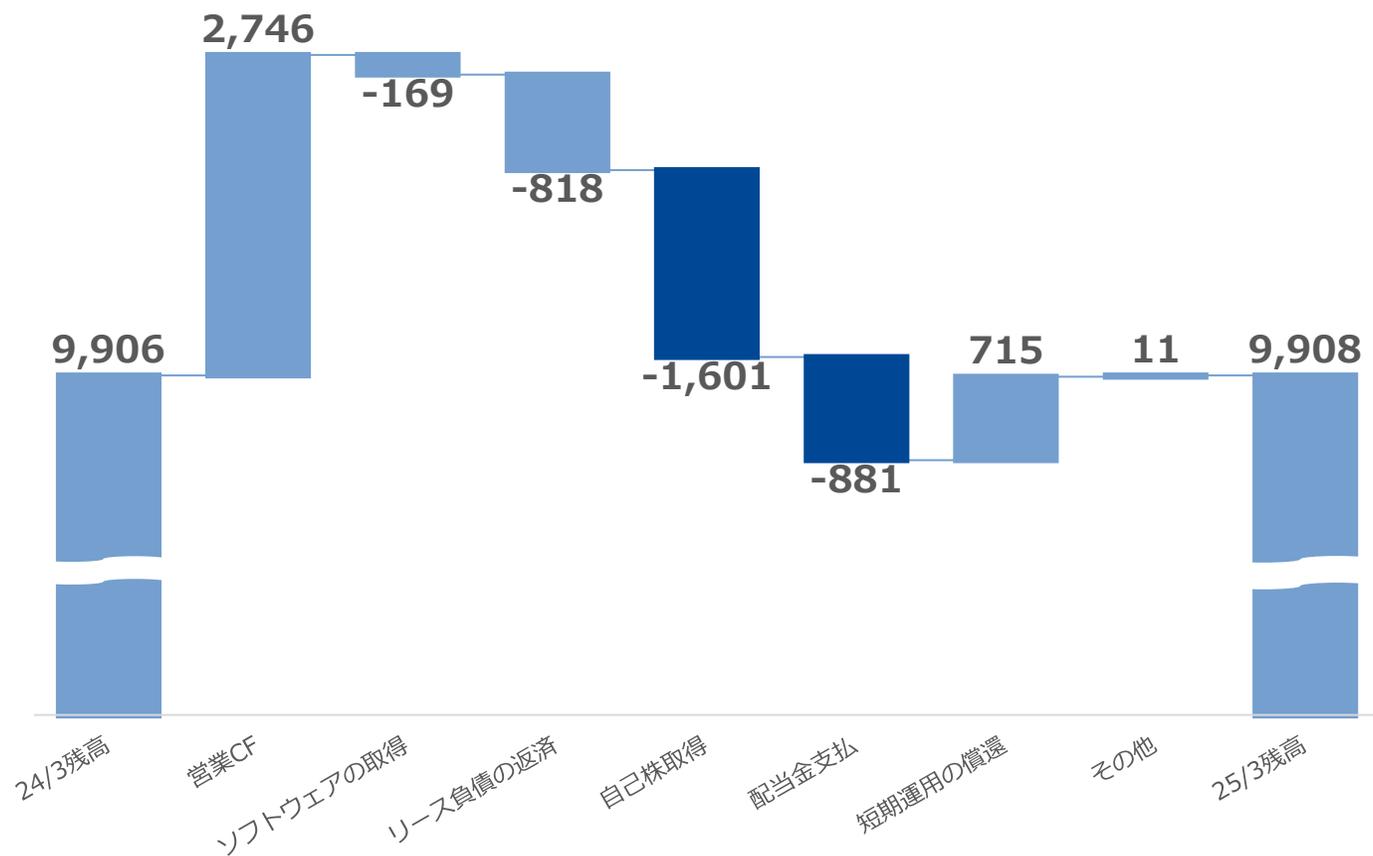
**研究開発費 156百万円 +65百万円**

- AI活用による業務効率化研究
- AI技術力向上のための啓蒙活動
- 次世代システム開発基盤の開発  
(ソフトウェア計上のため費用計上なし)

# キャッシュ・フローの状況

自己株式取得及び配当金で25億円の株主還元を実施

単位：百万円



## 株主還元

**自己株式取得 1,601百万円**

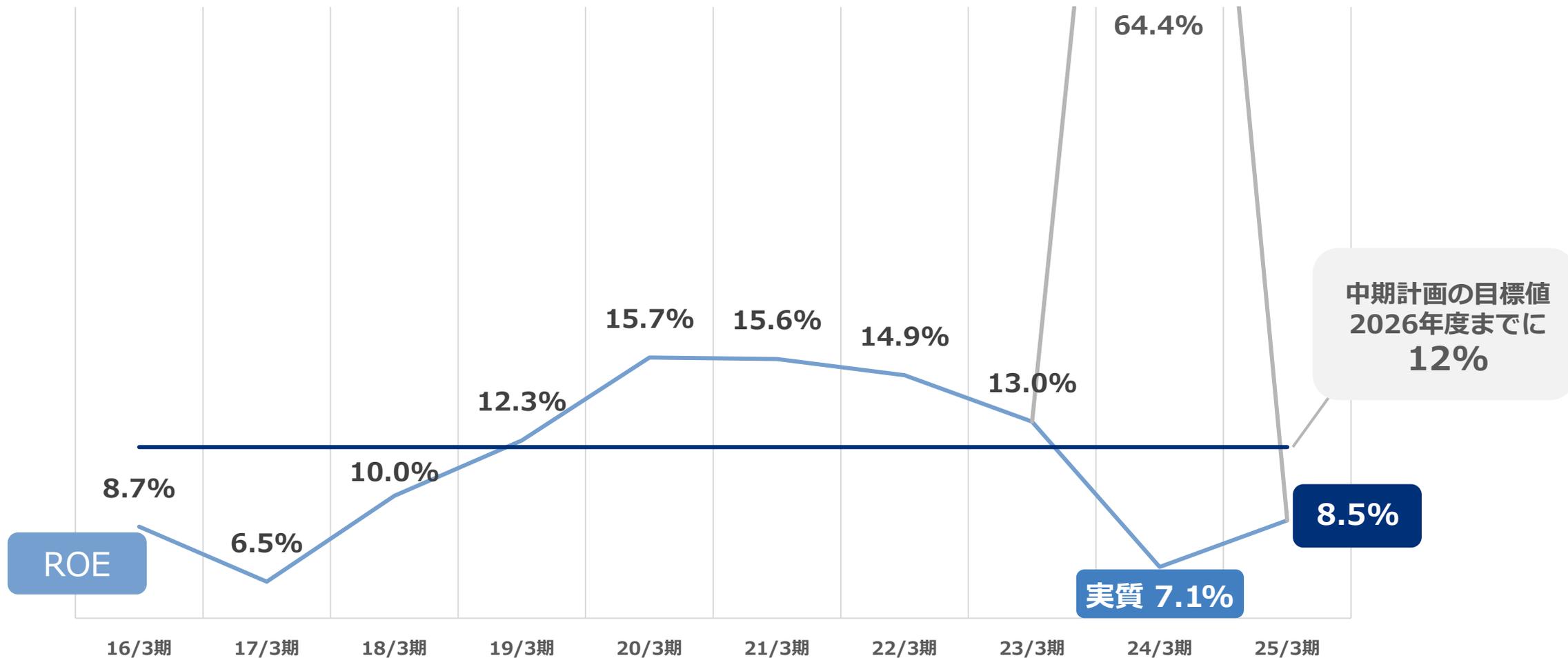
- 25年2月市場買付 1,444百万円  
取得株数 620,000株
- ESOP信託市場買付 157百万円  
25年2月から総額7億円買付実施

**配当金 881百万円**

- 一時的な損益項目を除く連結配当性向40%を基本に実施
- 24/3期末配当 39円 (年75円)
- 25/3中間配当 37円

# ROEの状況

利益増加、株主還元の実施により、前期実質7.1%から1.4ポイント改善し8.5%に



# 米国関税措置の影響

当社は主として日本国内で営業活動を行っており、米国向けの売上は無いため、直接的な影響はありません。

しかし、当社の顧客には、自動車産業など関税措置の影響を強く受けると見込まれる業種の顧客が含まれております。

これら間接的な影響については、現在調査中であります。

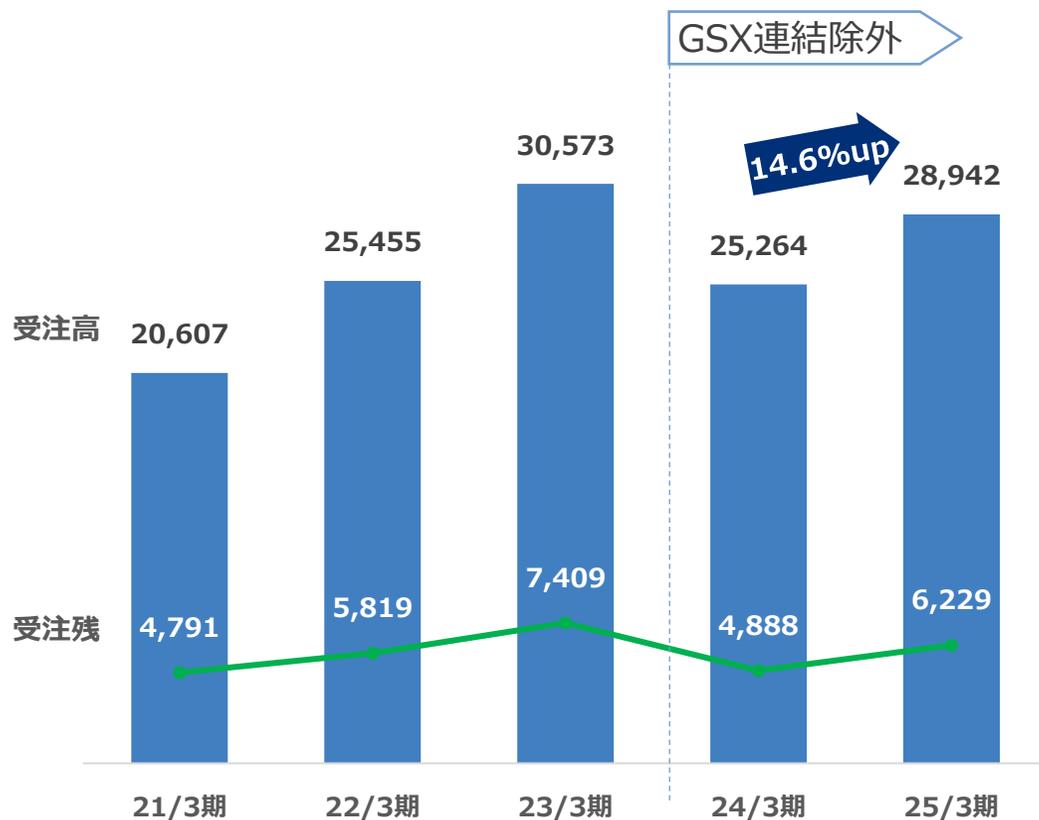
A decorative graphic on the left side of the slide, consisting of four thick, parallel blue diagonal bars slanted upwards from left to right.

## 2. 2024年度 決算説明

# 受注高・受注残高

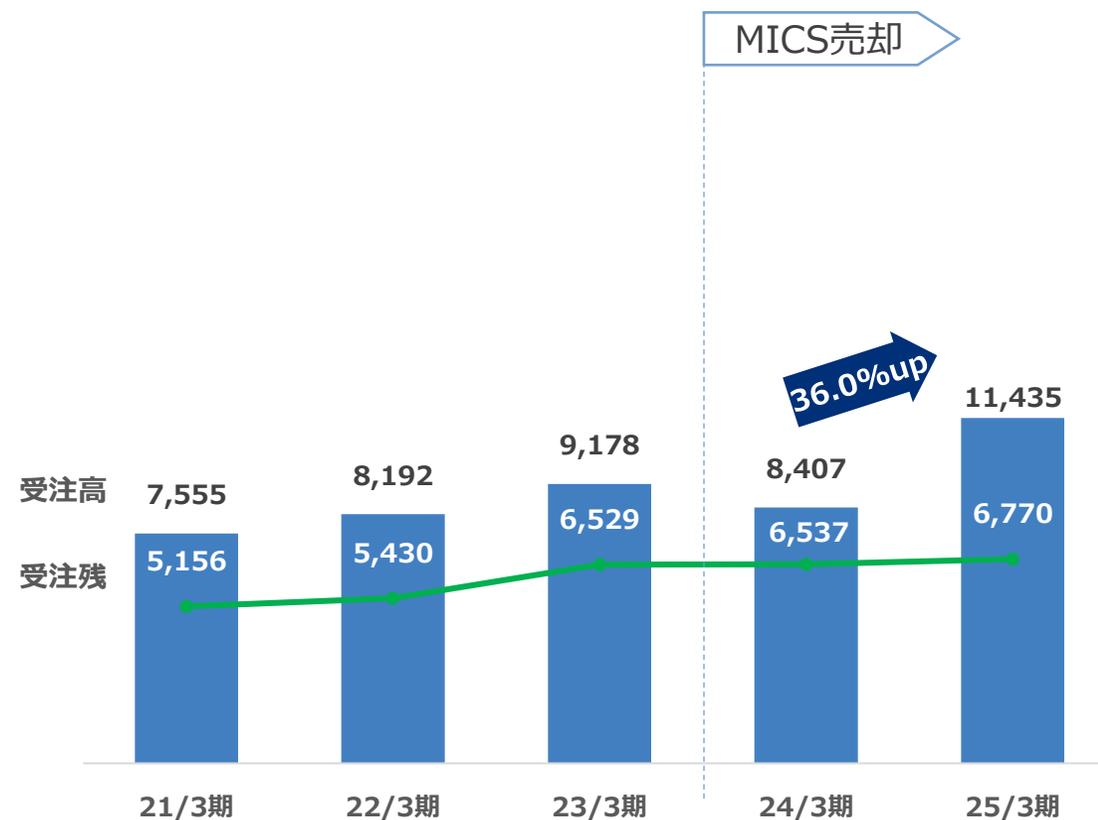
両セグメント共に受注高が増加。コンサルティング・システム開発事業の受注残が62億円（約2.5か月分）に。

コンサルティング・システム開発（単位:百万円）



※ 24/3期は連結から持分法適用となった関係会社(GSX)にかかる金額を除外している

マネージメントサービス (BPO)（単位:百万円）



※ 24/3期は売却した子会社(MICS)にかかる金額を除外している

# 受注高・受注残高

## 事業別の概況

### コンサルティング・システム開発事業（前年同期比 3,678百万円増 +14.6%）

- インフラ、モビリティ等注力業種顧客からの受注が好調
- 特需的に、既存顧客の大口受注を獲得
- 官公庁向け長期契約受注4億円が含まれている
- 前期取得したフレスコ（前期12月取得）が通年寄与 3億円
- 当期より開始したマネージドサービス事業の増加 3億円

### マネージメントサービス（BPO）事業（前年同期比 3,028百万円増 +36.0%）

- 人事給与関連、グローバル企業向けアウトソーシングの大口受注増
- 前期取得したトゥインクル（前期2月取得）が通年寄与 23億円

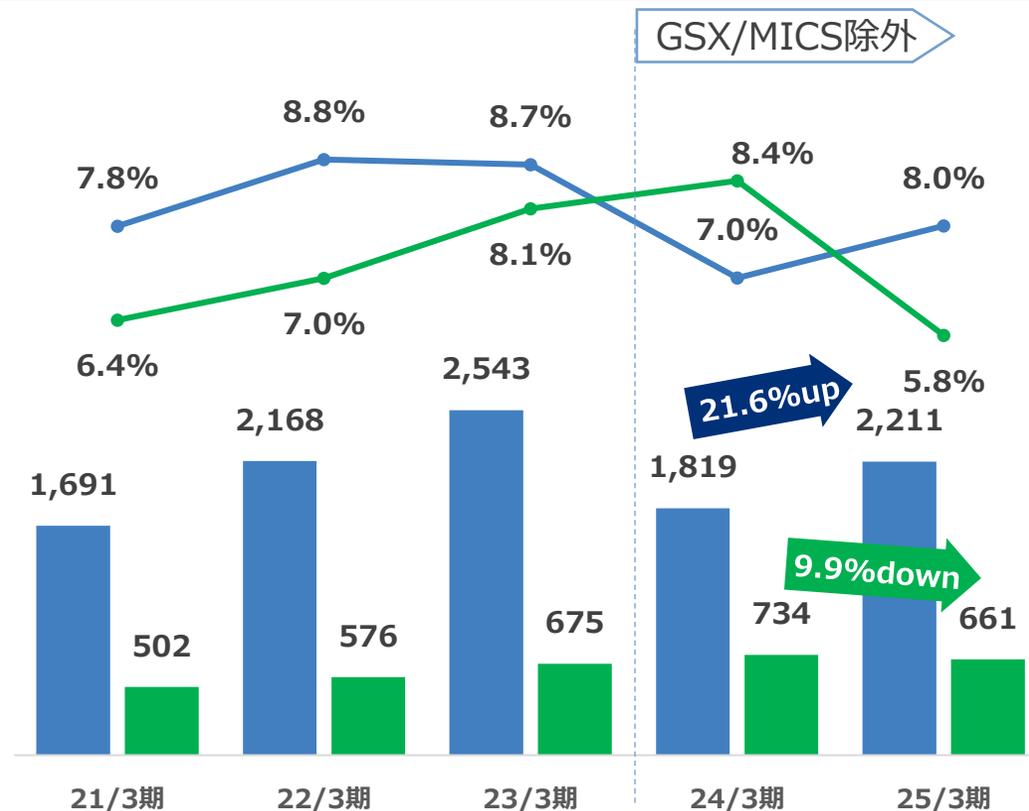
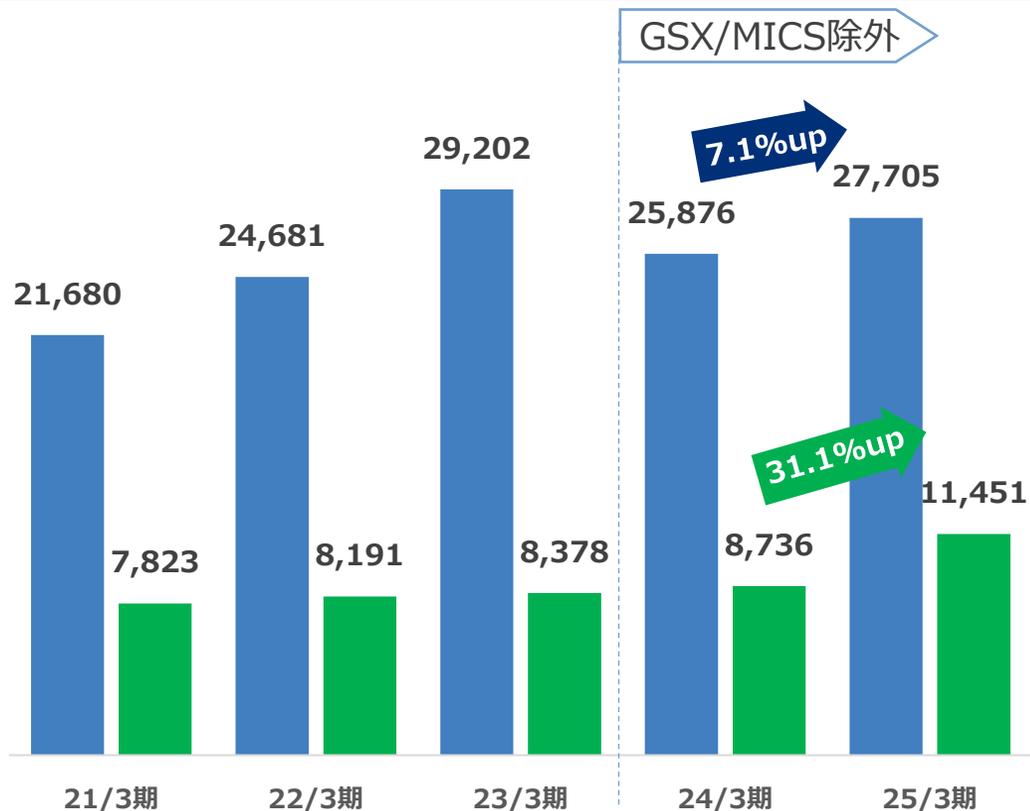
# セグメント売上高・利益

売上は両セグメント共に改善。組織再編コスト増等の影響でマネージメントサービス（BPO）事業の利益停滞

- コンサルティング・システム開発事業
- マネージメントサービス（BPO）事業

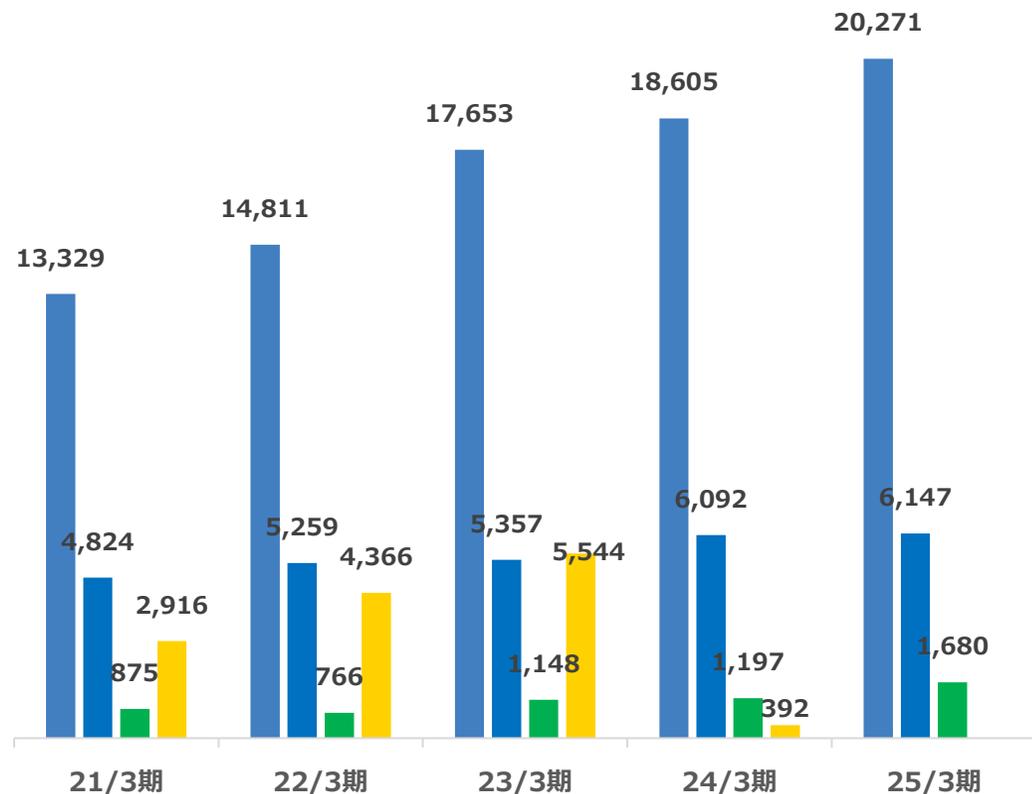
セグメント売上高（単位:百万円）

セグメント利益（単位:百万円）

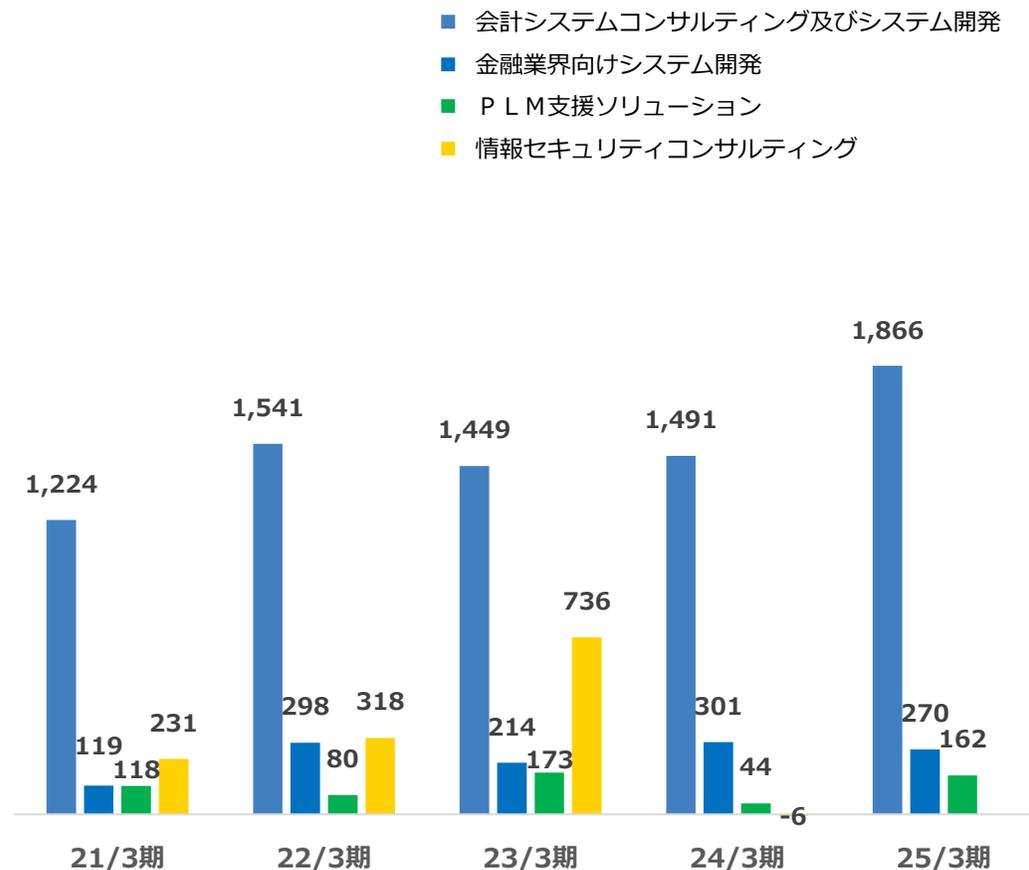


# コンサルティング・システム開発事業 内訳

セグメント売上高 (単位:百万円)



セグメント利益 (単位:百万円)



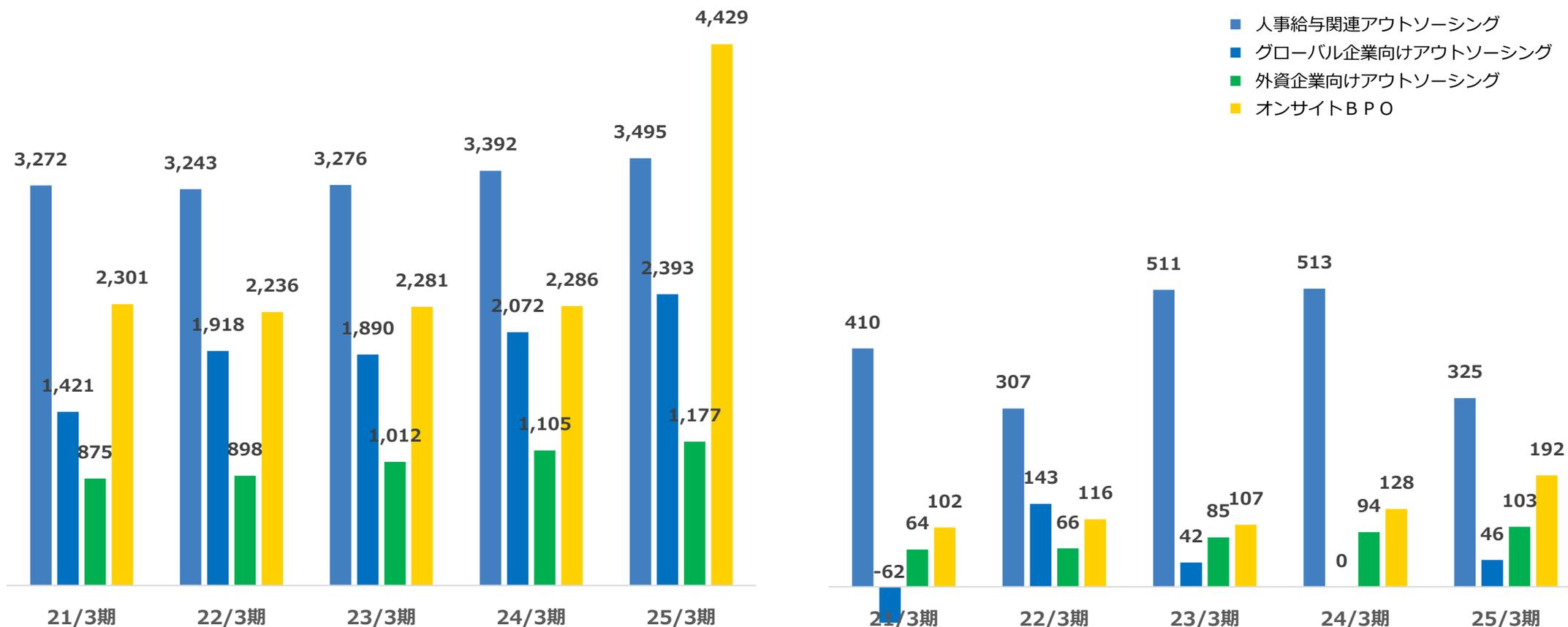
# コンサルティング・システム開発事業 概況

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会計システムコンサルティング及びシステム開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インフラ・モビリティ等注力分野の売上増加、特需的に、既存顧客の大口売上あり</li> <li>・ 不調プロジェクトが少なく、年間を通して稼働が高かったことによる利益率の改善</li> <li>・ 主要取引先の売上高は平均7%程度増加しており値上げ効果が出ている</li> <li>・ 新規事業マネージドサービスの順調な立ち上がりによる増収 364百万円</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金融業界向けシステム開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファンドラップ案件の減少分をSESなどの既存ビジネスの拡大により補い、おおむね前期並みの売上を維持した</li> <li>・ 利益率の高いファンドラップ案件が減少したことにより利益率は悪化している</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ PLM支援ソリューション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不調プロジェクト対応が上期で完了し、下期から急速に回復した</li> <li>・ フレスコ社通年寄与による増収 314百万円、増益41百万円</li> </ul>

# マネージメントサービス (BPO) 事業 内訳

セグメント売上高 (単位:百万円)

セグメント利益 (単位:百万円)



# マネージメントサービス（BPO）事業 概況

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人事給与関連アウトソーシング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大口受注の効果で増収継続</li> <li>・ 一方で、新規案件件数は減少しており、高利益率の導入時コンサル売上が上がりず利益率が低下した</li> <li>・ 組織再編による内部費用負担割合の変更により減益</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グローバル企業向けアウトソーシング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規大口案件の獲得により増収</li> <li>・ 札幌BPOセンター開設等事業拡大に向けたコスト発生が先行している</li> <li>・ 自動化効率化投資費用負担があり、利益を圧迫している</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外資企業向けアウトソーシング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社労士個人事務所の買収等積極的な拡大策により増収</li> <li>・ 売上拡大に伴う利益増</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オンサイトBPO</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トウインクル通年寄与による増収 2,086百万円、増益 81百万円</li> </ul>

# (参考) サブセグメント事業内容

## コンサルティング・システム開発事業

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会計システムコンサルティング及びシステム開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営会計及び関連領域におけるコンサルティングとシステム開発・導入支援・保守</li> <li>・ スクラッチ開発とパッケージ導入があり、取り扱いソリューションは、ACTシリーズ（自社ブランド）、Bizf、mcframe、楽々Framework等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金融業界向けシステム開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 証券会社向け受託開発（準委任型）、SE派遣</li> <li>・ 自社開発のファンドラップパッケージの販売、導入</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ PLM支援ソリューション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CADアドオン開発、BOM/PDM開発、保守</li> <li>・ 自社製品PLMconsoleの販売、導入</li> </ul>

## マネージメントサービス（BPO）事業

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人事給与関連アウトソーシング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給与計算等人事関連のセンター型アウトソーシングサービス</li> <li>・ 自社システム（Bulas、Win5）を活用した受託計算+BPO</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グローバル企業向けアウトソーシング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日系大企業向け経理、人事一括受託のセンター型アウトソーシングサービス</li> <li>・ 決算書類、連結財務諸表作成など高度な業務にも対応（High Value BPO）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外資企業向けアウトソーシング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主として外資系日本法人やSPAに対する経理、人事のセンター型アウトソーシングサービス</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オンサイトBPO</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SEやコールセンターオペレーター等の派遣、人材紹介、コールセンターの運用</li> </ul>

# (参考) サブセグメント別 売上収益・事業利益

(単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月		増 減	
	売上収益	事業利益	売上収益	事業利益	売上収益	事業利益
<b>コンサルティング・システム開発事業</b>						
会計システムコンサルティング及びシステム開発	18,605	1,491	20,271	1,866	1,666	375
金融業界向けシステム開発	6,092	301	6,147	270	55	-31
PLM支援ソリューション	1,197	44	1,680	162	483	118
情報セキュリティコンサルティング	392	-6	-	-	-392	6
調整	-410	-11	-392	-86	18	-75
<b>セグメント計</b>	<b>25,876</b>	<b>1,819</b>	<b>27,705</b>	<b>2,211</b>	<b>1,829</b>	<b>392</b>
<b>マネージメントサービス (BPO) 事業</b>						
人事給与関連アウトソーシング	3,392	513	3,495	325	103	-188
グローバル企業向けアウトソーシング	2,072	0	2,393	46	321	46
外資企業向けアウトソーシング	1,105	94	1,177	103	72	9
オンサイトBPO	2,286	128	4,429	192	2,143	64
調整	-119	-1	-43	-5	76	-4
<b>セグメント計</b>	<b>8,736</b>	<b>734</b>	<b>11,451</b>	<b>661</b>	<b>2,715</b>	<b>-73</b>

# 貸借対照表 資産

(百万円)	24/3期	25/3期	増減	増減率
流動資産	18,013	18,251	238	1.3%
現金及び現金同等物	9,906	9,908	2	0.0%
営業債権及びその他の債権	5,239	5,093	-146	-2.8%
契約資産	978	1,911	933	95.4%
その他の金融資産	1,109	316	-793	-71.5%
その他の流動資産	781	1,023	242	31.0%
非流動資産	26,791	27,072	281	1.0%
有形固定資産	682	625	-57	-8.4%
使用权資産	2,716	2,628	-88	-3.2%
のれん	2,064	2,159	95	4.6%
無形資産	1,021	1,000	-21	-2.1%
持分法投資	16,736	17,073	337	2.0%
その他の金融資産	2,840	2,909	69	2.4%
その他の非流動資産	732	678	-54	-7.2%
資産合計	44,804	45,323	519	1.2%

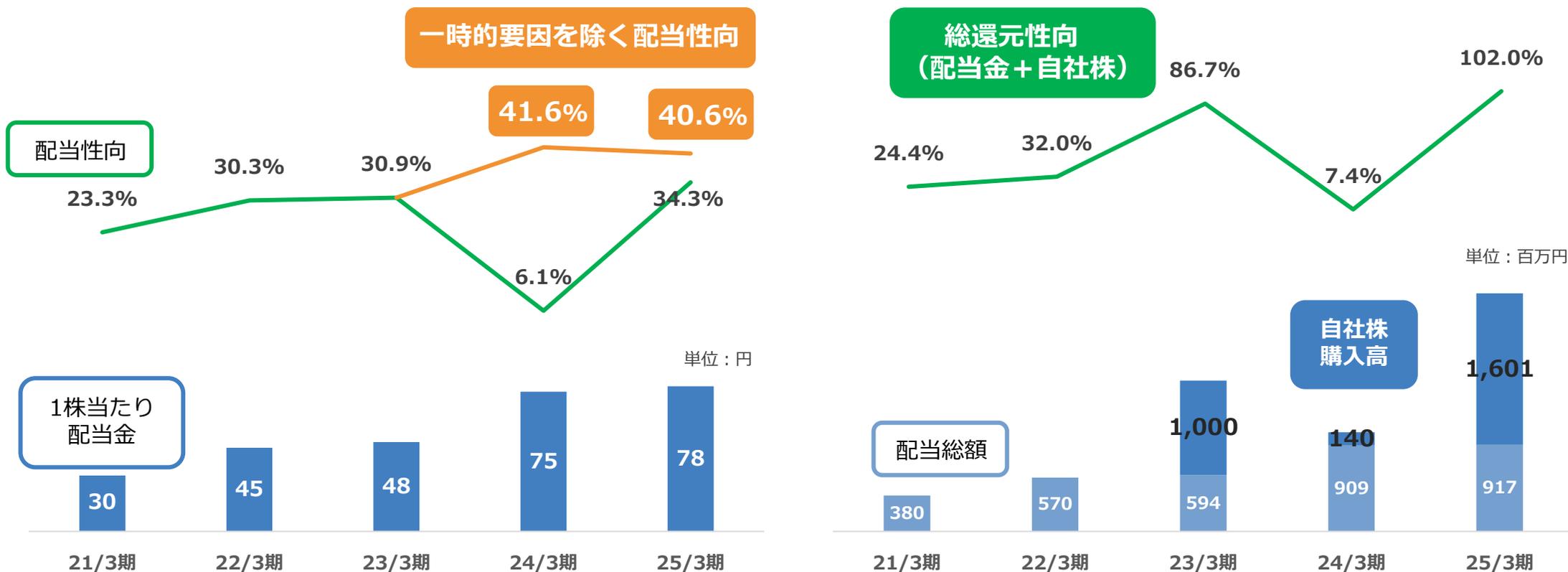
# 貸借対照表 負債・資本

(百万円)	24/3期	25/3期	増減	増減率
流動負債	8,048	7,940	-108	-1.3%
リース負債	747	808	61	8.2%
営業債務及びその他の債務	2,621	2,116	-505	-19.3%
その他の流動負債	4,680	5,016	336	7.2%
非流動負債	7,357	7,770	413	5.6%
リース負債	2,009	1,884	-125	-6.2%
引当金	308	513	205	66.7%
繰延税金負債	4,133	4,224	91	2.2%
その他の非流動負債	907	1,149	242	26.7%
負債合計	15,405	15,710	305	2.0%
親会社の所有者に帰属する持分	28,962	29,139	177	0.6%
非支配持分	437	474	37	8.5%
資本合計	29,399	29,613	214	0.7%
負債及び資本合計	44,804	45,323	519	1.2%

# 配当、配当性向、総還元性向

配当方針に基づき実質配当性向40%を維持しつつ、自社株購入を組み合わせた株主還元を実施

配当方針：当期業績に基づく株主の皆様への利益還元と財務体質の強化のための内部留保を総合的に勘案して、一時的な損益項目を除く連結配当性向40%を基本に実施する方針であります。



配当総額は、対応する決算期で集計している

A decorative graphic on the left side of the slide, consisting of four thick, dark blue slanted parallel lines.

## 3. 2025年度 業績予想

# 連結業績予想

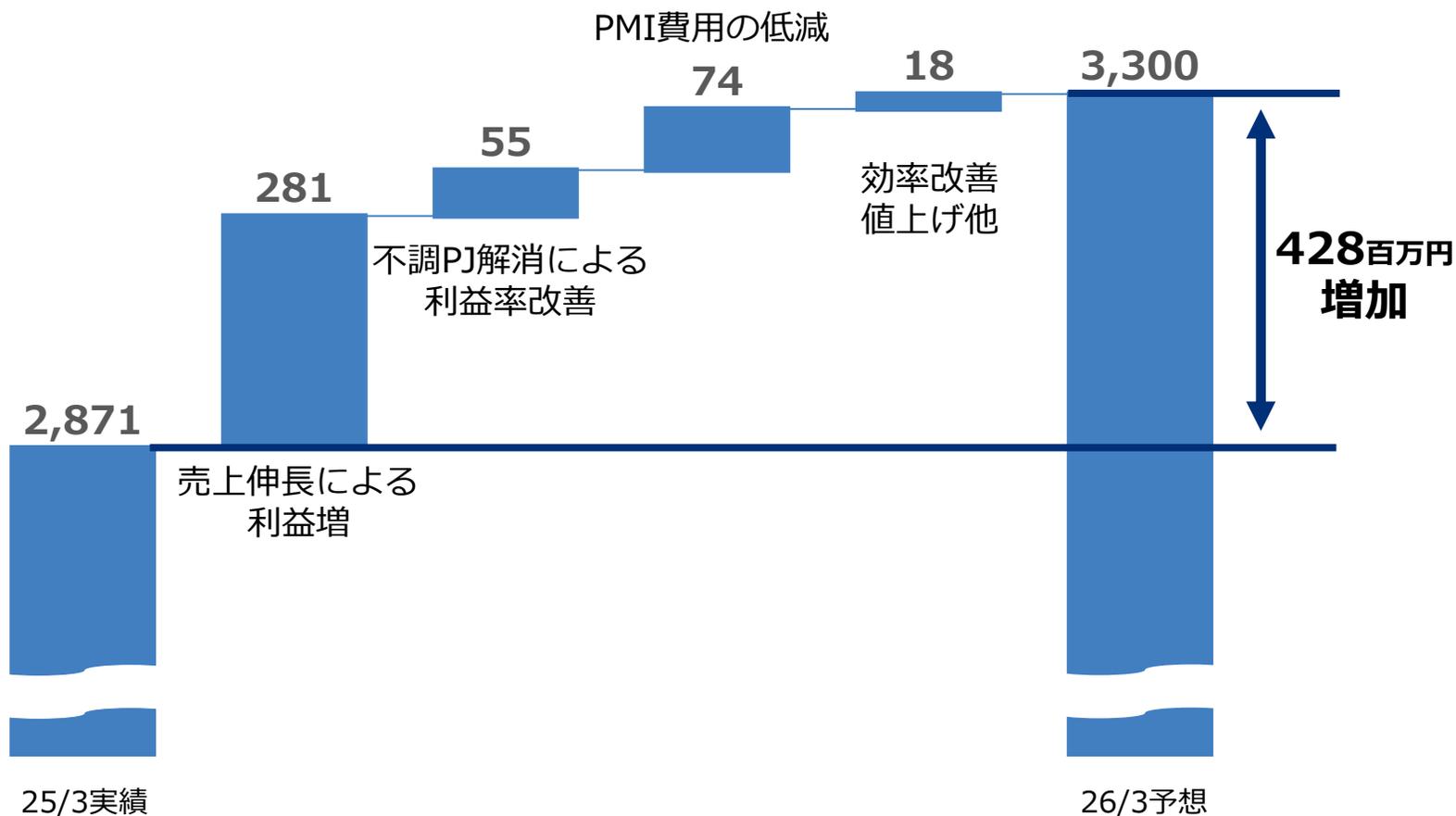
利益率の更なる改善により、中計目標事業利益の達成を目指す

単位：百万円

	25/3月期 実績	26/3月期 予想	増減額	増減率	中期経営計画 オーガニック成長 26/3期目標	増減額
受注高	40,377	44,000	3,623	9.0%	-	-
売上収益	38,804	42,600	3,796	9.8%	43,600	△1,000
事業利益	2,871	3,300	429	14.9%	3,313	△13
事業利益率	7.4%	7.7%	0.3%	-	7.6%	0.1%
税引前利益	3,352	3,970	618	18.4%	-	-
当期利益	2,510	2,600	90	3.6%	-	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,469	2,560	90	3.7%	-	-
年間配当金	78円	89円	11円	-	-	-

# 事業利益予想の内訳

25/3期の一時的要因が解消による利益率改善が利益増加要因に



## 不調PJ解消による利益率改善

前々期に発生した不調プロジェクト対応の影響が前上期まで残っていた。  
26/3期は、これらのマイナス影響がなくなることによる利益率の改善の見込んでいる。

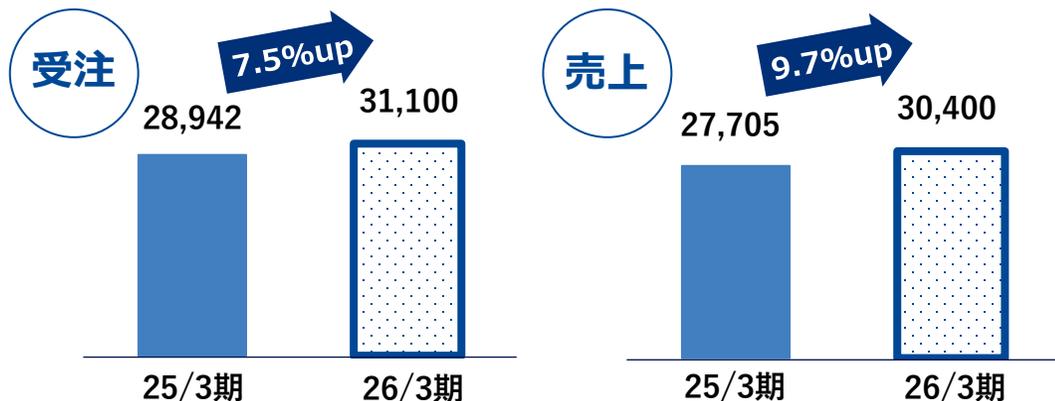
## PMI費用の低減

前期は、前々期に取得した子会社にかかるPMI費用が発生していたが、26/3期は見込んでいない

# セグメント業績予想

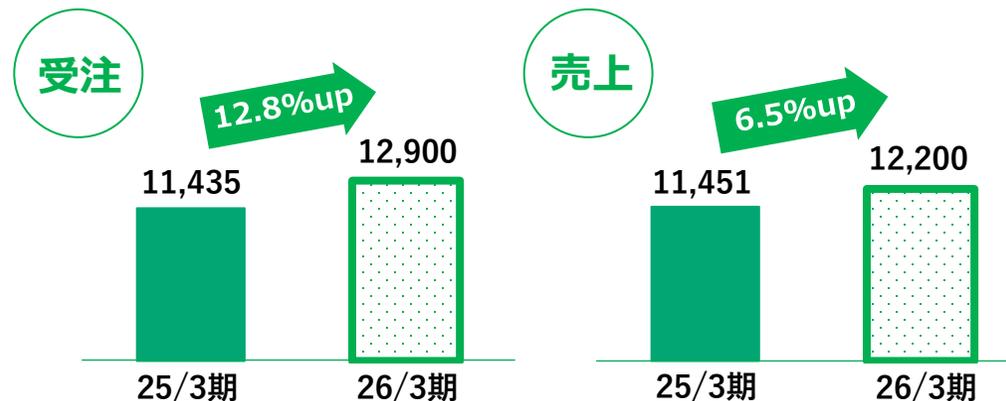
受注、売上収益の予想

## コンサルティング・システム開発事業



- 注力分野であるインフラ業界顧客に対する受注・売上増
- PLM支援ソリューションでのグループシナジー拡大
- 25/3期に立ちあげたマネージドサービスの伸長

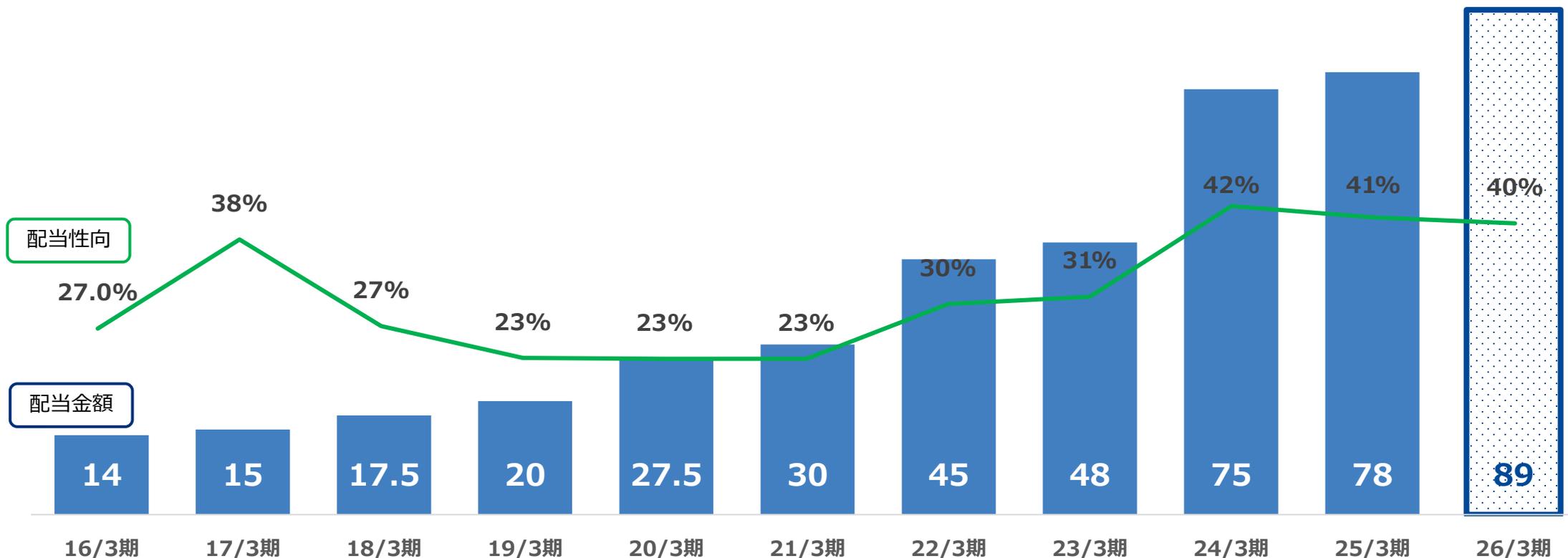
## マネージメントサービス(BPO)事業



- 人事給与関連アウトソーシングの前期受注の実現による売上増
- オンサイトBPOの継続的な拡大
- 外資企業向けアウトソーシングのM&A効果の発現

# 配当予想

一時的な損益項目を除く連結配当性向40%の基本方針のもと、年間89円実施予定



※ 当社は、2020年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2020年3月期以前の1株当たりの年間配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

## BBSについて

1967年の創業以来、BBSは日本企業に寄り添い、お客様の「経営」と「会計」を支えています。

BBSでは『経営会計』に関する「コンサルティング」、「システムインテグレーション」、「マネージメントサービス(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)」を提供し、この3つのサービスの軸を「BBSサイクル」と定めています。お客様の戦略、計画策定から運用、定着までの様々なステージにおいて、「BBSサイクル」は効果的・継続的なご支援を可能にします。

私たちは会計領域を超えた経営会計の専門家として、お客様を支える『総合バックオフィスサポーター』です。

# Together for Value



## 株式会社ビジネスブレイン太田昭和